

令和7年第7回小坂町議会（定例会）議事日程 第2号

令和7年12月5日（金） 午前10時開議

◎ 一 般 質 問

- (1) 3番 菅原明雅君
- (2) 4番 鹿兒島 巖君
- (3) 2番 工藤文明君
- (4) 7番 木村則彦君
- (5) 8番 秋元英俊君
- (6) 6番 本田佳子君

令和7年12月4日招集

第7回小坂町議会（定例会）

---

---

# 発言通告書

---

---

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
1	3	菅原 明雅	一般質問	町長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 「高齢者住宅の建設」について</p> <p>2. 「介護人材の確保」について (提案)</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>町長の選挙公約の「高齢者住宅の建設」について伺いたい。</p> <p>(1) 進捗状況をお示し願いたい。</p> <p>(2) わが町の独居高齢者世帯数と高齢者だけの世帯数をお教え願いたい。</p> <p>(3) 選挙公約は選挙のためではなく町民のためにあるものとするが、町長のお考えを伺いたい。</p> <p>(4) 町民の安心のために、「高齢者住宅建設」のタイムスケジュールを町民に示すべきと考えるが、いかがお考えか。</p> <p>私の選挙公約でもある「介護人材の確保」について伺いたい。</p> <p>将来的な介護人材不足が懸念され、この問題については、過去にも質問し、その都度丁寧なご回答をいただいているが、率直に申し上げ成果が上がっているとは思えない。介護人材不足は、多くの高齢者にとって大きな不安の一つであり、具体的な対応策が講じられなければならないと考える。そこで改めて、</p> <p>「小坂町・大館市・鹿角市・北秋田市・上小阿仁村との広域連携で、大館市の秋田看護福祉大学と協定し、安定的な介護人材の確保に繋げることを要望し提案するが、いかがお考えか伺いたい。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
2	4	鹿兒島 巖	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 自治会館へのクーラー設置補助について。</p> <p>2. シルバーエリア構想とサンホーム大石平の移設計画について。</p> <p>3. 熊による被害の対策について</p> <p>4. 小中学校の不登校問題にかかわって。</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>近年の気象状況の変化はこれまで経験の無いものとなっており、特に夏場の猛暑は耐えがたいものとなっている中で、自治会活動の拠点である自治会館での活動に支障を来し、クーラー設置が喫緊の課題となっている。 自治会館へのクーラー設置に対する助成を要望したい。</p> <p>シルバーエリア構想の進捗状況はどうか、構想の中で一つの柱となると考えられるサンホーム大石平の移設計画について、小坂ふくし会からの説明・協議があったと聞くがその内容はどういったものか、町はどう受け止めているか。</p> <p>熊による被害が未曾有の規模で町民の暮らしに大きな脅威を及ぼしている状況の中で、熊対策は抜本的な見直しが求められている。 対策については緊急対策とともに中長期的対策が必要であり、緊急対策では、罾檻設置などの安全対策、熊誘因への対策（柿、栗等の樹木の伐採）などであり、中長期的対策では、個体数把握調査や個体数削減・管理、棲み分け・緩衝帯整備などであるが、これらの見直し、強化についてどう考えているか。考えを伺い、その上で具体的に提案したい。</p> <p>小中学校の不登校問題が全国的に深刻化し、特に県内では過去最多を記録したと聞く。 県教育庁が2024年度の児童・生徒の問題行動や不登校などに関する調査結果を公表したが、その中で県内の国公立小中学校の不登校者が過去最多となり「極めて深刻な状況」としている。 当町の状況はどうか、不登校などへの取り組みを見直す必要があると考えるがどうか。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
3	2	工藤文明	一般質問	町長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. クマ対策、人身被害の防止に向けて</p> <p>2. 小坂定期市日の現状と今後について</p> <p>3. 公共施設に寄せられた爆破予告への対応と対策について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>令和7年、クマの異常出没による人身被害が県内各地で数多く発生しています。</p> <p>この中において小坂町は、クマによる農作物への被害は発生しましたが、人身被害は受けておりません。町民に対する注意喚起などが成果をあげているものと推察しますが、クマによる人的な被害は、いっどこで誰が受けてもおかしくない状況にあります。</p> <p>クマによる人身被害の防止に向けて、町民を守るためのさらなる取り組みなどを検討されているのかを伺います。</p> <p>小坂定期市日は、明治百年通りの国際交流広場に移動して、現在も開設しておりますが、年々買い物客が減少しているように見受けられます。</p> <p>① 町として定期市日の現状をどのように捉えているのか。</p> <p>② 市日の開設者から町に対して、何か要望が出ているのかどうか。</p> <p>③ 定期市日に対して今後、町からの助成や支援などを必要とすべきかどうか。</p> <p>この3点について伺います。</p> <p>新聞記事に掲載されておりましたが、「10月28日、康楽館に爆破予告の不審メールが届き、その日予定されていた常打芝居の開始時刻を遅らせて、安全確認をした上で公演をおこない、爆発も発生しなかった」という出来事がありました。</p> <p>予告メールについては、許されない犯罪行為で、厳しく対処していくべきものですが、この時にとった施設の対応について、できる範囲で回答願います。</p> <p>また、今後も同様の対策が求められることがあるかもしれませんが、その対処についてお考えを伺います。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
4	7	木村則彦	一般質問	町長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 大雪に対応した除雪対策について</p> <p>2. 国県への道路改良要望に対しての現状について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>昨年度の大雪により、町民からは雪対策が生活する上で一番苦難であるという声が多く寄せられました。</p> <p>町政報告において、今冬の除雪計画は地域の要望を聞きながら除排雪作業を実施するとなっています。</p> <p>町の除雪は他の地域と比べてきめ細かく対応いただいておりますし、自治会除雪デーへの協力などで助かっておりますが、大雪時では近くに雪捨て場、流雪溝などが無い地域によって、例年の除雪行動では対応できない場合があると思います。</p> <p>そこで、次の点について伺います。</p> <p>① 昨年度の大雪で、除雪に対して町民からは主にどのような要望や意見が寄せられたのか。</p> <p>② 昨年度と同様の大雪に備え、町民からの要望に対してどのような除雪対策を考えているのか。</p> <p>③ 町の除雪後に補完的に周辺の除雪を行えるように、個人で購入する小型除雪機購入費への一部助成を、町として支援できないものか。</p> <p>④ 鹿角市や大館市で実施している、屋根の雪下ろし及び下ろした雪の除排雪作業を業者に委託した費用の一部助成を、町として支援できないものか。</p> <p>現在、国道282号の町中心部から川上方面において、狭隘箇所やカーブなどが改良されていることは、これまでの国県に対しての道路改良要望の成果がでているものと思います。</p> <p>この区間は生活道路であると共に、観光や運輸など様々な形態での利用がなされることから、将来的にどのような道路になるのかは町民の関心が高いものと思います。</p> <p>そこで、次の点について伺います。</p> <p>① 具体的に、どの地点をどのような内容での道路改良を要望しているのか。</p> <p>② 要望に対しての現段階での道路改良状況と、今後の改良計画は。</p>		

発言順	議席番号	氏 名	発言の種別	出 席 要 求 者
4	7	木村則彦	一般質問	町 長
<p>(発言の要旨)</p> <p>3. 町民の防災意識の向上を図るための取り組みについて</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>8月31日に小坂町を会場に開催された秋田県総合防災訓練では、多くの町民や各関係機関が参加して、充実した訓練が行われたものと思います。</p> <p>今までも、町の地域防災計画により各種訓練や講習会などが行われてきたとは思いますが、今回の防災訓練をきっかけとして、今後も防災知識の普及や自主防災組織の育成、防災訓練等を通して、町民の防災意識の向上を図るための計画的な取り組みを、どのように考えているのかを伺います。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
5	8	秋元英俊	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 緊急銃猟整備。</p> <p>2. 園児及び児童生徒の通学体制。</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>小坂町及び近隣市町村でのツキノワグマ等（イノシシも含む）の人の生活圏への侵入が相次いでいます。大型獣の人の生活圏への侵入については、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の中で、住居集合地域等での銃器を使用した鳥獣の捕獲等（銃猟）を禁じてきたところで、危険が生じ、特に急を要する状況では、警察官職務執行法などで銃器を使用した捕獲等が行われて来ましたが、今年9月1日に施行された鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の一部を改正する法律により、大型獣の中でも特に人身被害を生じる恐れの高いクマ等について、住居集合地域等よりも概念である人の日常生活圏での銃猟をすることの可能とする制度が創設されました。</p> <p>このような、緊急銃猟について、どのように考えているかを伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小坂町の緊急銃猟対応マニュアルを整備しているのか。</li> <li>2. 平時からの体制確保として、捕獲の実施者の確保、外部者に委託する場合の協力体制の構築はなされているのか。</li> <li>3. 机上及び実施訓練等を行う必要があると考えますが。 (研修等の実施)</li> <li>4. 備品等の確保はなされているのか。</li> <li>5. 近隣市町村との協力体制の確保も重要である考えるところから、連携等の対応の検討はなされているのか。</li> <li>6. 小坂町を管轄している警察署との連携も重要であることから、事前に協議などなされているのか。</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. マリア園付近や東渡ノ羽などにクマが出没し、通園及び通学に対して注意隆起などがなされましたが、今後の体制はどのようなことを考えているのか。(警備等の委託など。)</li> </ol>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
6	6	本田佳子	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 重点支援地方交付金の使い道について</p> <p>2. 高校生の通学バスについて</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>物価高騰対策として、11月22日に閣議決定された、重点支援地方交付金を小坂町では、どのような使い方を考えているか。</p> <p>高校生のバス通学に関して、町独自のかぶきんパスで経済的に助かって感謝していると好評だ。しかし、運行の部分で帰りのバスで小坂まで帰ってきても、遅い時間の町営バスの運行がないため、共働きの親の迎えを待つのに、暗い中での待ち時間ができ、危険だ。川上地区や七滝地区に自宅がある生徒が自宅にたどり着けるような、方法はないか。ある程度の人数がまとまった場合に、デマンドタクシーのような仕組みでできないものか。</p>		